



速報 第56回ギャラクシー賞入賞作品、 個人賞、特別賞、DJパーソナリティ賞決定

平素より当会にはご理解、ご支援を賜り、ありがたく御礼申し上げます。

テレビ、ラジオの番組、関係者に贈る賞として56年の歴史を誇る「ギャラクシー賞」の今年度入賞作品が決定しました。本日4月26日、発表いたします。

テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の入賞作品は別紙一覧のとおりです。各部門とも、この入賞作品の中から、大賞、優秀賞、選奨が選ばれ、5月31日の贈賞式で発表、表彰いたします。テレビ部門特別賞・個人賞、ラジオ部門DJパーソナリティ賞は以下のとおり確定いたしました。

テレビ、ラジオ、CM、報道活動各部門入賞作品＝別紙一覧参照

テレビ部門 特別賞

BS1スペシャル「ボルトとダシャ マンホールチルドレン 20年の軌跡」

日本放送協会 えふぶんの巻 NHKエンタープライズ

テレビ部門 個人賞

菅田将暉 金曜ナイトドラマ「dele」（テレビ朝日）、「菅田将暉TV」（NHK）、「3年A組—今から皆さんは、人質です—」（日本テレビ）の演技

ラジオ部門 DJパーソナリティ賞

鬼頭里枝 静岡放送パーソナリティ

<贈賞式日程>

日時 2019年5月31日（金曜日）贈賞式15:00～17:15

会場 セルリアンタワー東急ホテル ボールルーム（東京・渋谷）

5月23日（木）16:00に、第2次発表を行い、志賀信夫賞、フロンティア賞、マイベストTV賞グランプリを発表します。

5月31日（木）贈賞式で、テレビ部門、ラジオ部門、CM部門、報道活動部門の大賞、優秀賞、選奨が確定し、発表されます。

テレビ部門

ETV特集「静かで、にぎやかな世界～手話で生きる子どもたち～」

日本放送協会

メ～テレドキュメント「葬られた危機～イラク日報問題の原点～」

名古屋テレビ放送

ドーンと鹿児島「ジェフリー不動産～空き家を貸してもらうまで～」

南日本放送

病院ラジオ

日本放送協会

NHKスペシャル「“駅の子”の闘い～語り始めた戦争孤児～」

日本放送協会

金曜ナイトドラマ「dele」

テレビ朝日

チョコちゃんに叱られる!

日本放送協会 NHKエンタープライズ 共同テレビジョン

オトナの土ドラ「結婚相手は抽選で」

東海テレビ放送 共同テレビジョン

M-1グランプリ アナザーストーリー あの日、人生が変わった

朝日放送テレビ

沖縄 保守の系譜～政治家・翁長雄志～

琉球放送

沈黙の山

チューリップテレビ

WORLD FUKUOKA NEWS

テレビ西日本

BS1スペシャル「老いてなお 花となる 第二章 俳優・織本順吉 92歳」

日本放送協会 かわうそ商会 NHKエンタープライズ

ETV特集「誰が命を救うのか 医師たちの原発事故」

日本放送協会

特別賞

BS1スペシャル「ボルトとダシャ マンホールチルドレン20年の軌跡」

日本放送協会 えふぶんの巻 NHKエンタープライズ

個人賞

菅田将暉

金曜ナイトドラマ「dele」（テレビ朝日）「菅田将暉TV」（NHK）「3年A組 一今から皆さんは、人質ですー」（日本テレビ）の演技

報道活動部門

1980年から現在も続くハンセン病に関する報道および活動

山陽放送

規制なき“負の産物”建設残土問題を追う～開発と発展の陰で～

CBCテレビ

「目で聴くテレビ」の災害報道の20年～もうひとつの言語で伝える災害報道～

障害者放送通信機構

ドキュメンタリー「マザーズ」を起点とした特別養子縁組の継続報道7年

中京テレビ放送

ガイアの夜明け「マネーの魔力」

テレビ東京

北海道とアイヌ民族 もう一つの150年

北海道テレビ放送

●テレビ部門は上記ノミネート14本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本が選出されます。●ラジオ部門は上記ノミネート8本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨4本が選出されます。●CM部門は上記ノミネート13本から、大賞1本、優秀賞3本、選奨9本が選出されます。●報道活動部門は上記ノミネート6本から、大賞1本、優秀賞2本、選奨3本が選出されます。●最終選考の結果は、5月31日（金）開催「第56回ギャラクシー賞贈賞式」で発表、表彰されます。●テレビ、ラジオのノミネートは放送日順、CMは広告主企業名五十音順、報道活動は申込社（者）名五十音順に記載。●詳しい結果は6月6日（木）発売の「GALAXY」2019年7月号に記載いたしますので、ご覧ください。

ラジオ部門

私宅監置・沖縄～扉がひらくとき～

ラジオ沖縄

午後はとことん よろず屋ラジオ「許せない! 特殊詐欺 絶対にだまされないぞスペシャル」

福井放送

ラジオドラマ「ストリッパー物語」

ニッポン放送 日本映画放送

J-WAVE 30th ANNIVERSARY SPECIAL RINREI NATIVE MUSIC JOURNEY

J-WAVE

「10.19」～7時間33分の追憶～

朝日放送ラジオ

TBSラジオ年末交通情報～おまけ付き～

TBSラジオ

SCHOOL OF LOCK!

エフエム東京

J-WAVE 30th ANNIVERSARY SPECIAL RADIO DRAMA ～沢木耕太郎「凍」～

J-WAVE

DJパーソナリティ賞

鬼頭里枝

「テキトーナイト!!」（静岡放送）パーソナリティ

CM部門

テレビCM

大塚製薬 イオンウォーター シリーズ おとなは、ながい。「電車篇」「野球篇」

大塚製薬 TUGBOAT 電通 ソーダコミュニケーションズ

大塚製薬 カロリーメイト「心の声」

大塚製薬 博報堂 catch ENOAD AOI Pro.

オープンハウス 企業 シリーズ 夢見る小学生「転校生篇」「ナイショ話篇」「貯金篇」

オープンハウス 博報堂 東北新社

サントリーホールディングス サントリーCRAFT BOSS TEA「新しい風・ロンドン篇」

サントリーホールディングス シンガタ ワンスカイ 電通 ギークビクチュアズ

スカパーJSAT 基本プラン シリーズ「スカパー! 堺議員シリーズ」

スカパーJSAT 電通 電通クリエイティブX

SOMPOホールディングス SOMPO認知症サポートプログラム「SOMPO認知症サポートプログラム始動」

SOMPOホールディングス 東急エージェンシー AOI Pro. GOOD VIBES ONLY

トヨタ自動車 企業「トヨタタイムズ はじまる」

トヨタ自動車 電通 篠原誠事務所 KEY pro AOI Pro.

南都銀行 相続・遺言信託 シリーズ「南都家の一族」

南都銀行 博報堂関西支社 クレイ

富士フイルム 企業「樹木さん2018年末特別篇」

富士フイルム シンガタ ワンスカイ 電通 トレードマーク マザーズ

本田技研工業 ブランド「GVP Motorcycle」

本田技研工業 電通 太田恵美事務所 ワサビ

三井住友カード 企業 シリーズ「Thinking Man篇」

三井住友カード 電通 TUGBOAT 東北新社

ラジオCM

群馬マスコミ3社（上毛新聞社・群馬テレビ・エフエム群馬）特殊詐欺ゼロキャンペーン「無許可篇」

エフエム群馬 群馬テレビ 上毛新聞社

大日本除虫菊 キンチョール・蚊がいなくなるスプレー・ゴキブリがうごかなくなるスプレー・プレシャワ―DF シリーズ 金鳥ラジオ

CM 殺虫剤占い「こらえ性」「慎重」「結果」「いい人」

大日本除虫菊 電通関西支社 ヒッツコーポレーション



ギャラクシー賞の概要

◆歴史および概要◆

1963年、放送草創期のこの時期に、テレビとラジオの可能性、影響力に着目し、その発展には必ず“批評”の力が必要であると考えた評論家、研究者、ジャーナリスト、作家らの有志によって創設された放送批評懇談会。ギャラクシー賞は、志ある番組を掘り起こし、制作者たちの番組作りへの情熱に光を当てて顕彰することで現場を鼓舞し、番組の向上・発展を促すことを目的に誕生した。民間の自主的意思を基盤として創設された放送賞の第一号である。表彰は1年単位。

「ギャラクシー」とは、天の川、銀河。佳人・才子の華やかな群れという意味を持つ。放送界にきらめく才能を表すのにふさわしいものとして、放送批評懇談会設立の核となった渋谷秀雄、内村直也、梅田晴夫そして初代のトロフィーをデザインしたガラス作家・岩田糸子らによって賞の名に選ばれた。ギャラクシー賞は第50回（2013年）を記念してトロフィーを一新。松永真デザインの「バードマン」が新しい賞のシンボルとなった。

◆賞の特徴◆

ギャラクシー賞設立時には、すでにいくつかの放送賞が存在したが、その多くは「コンクール用に盛装を凝らしたものを対象にした記念行事」（故・白井隆二）だった。白井らは、テレビやラジオが日常に根ざした媒体であることを強く意識し、年間を通じてテレビを視聴しラジオを聴いて番組を批評することを賞の大前提に掲げた。その志は現在まで貫かれ、放送批評懇談会正会員の自主的な視聴活動が賞の土台となっている。

テレビ部門では、審査を担当する選奨委員により月評会（毎月）が開催され、月間賞が選出されている。他部門も定例会を持ち番組・作品を論じ合う。これらの内容は毎月、月刊誌「GALAC／ぎやらく」に掲載される。こうした活動により、“放送の現在に向き合う賞”として独自の地歩を固めている。

◆審査と表彰◆

時代性に優れ、ジャーナリスティックな感覚を持ちえていること、かつ作品として普遍的な力量を備えていることの二点が選考の柱。

放送批評懇談会正会員によって組織する選奨事業委員会が審査を担当。審査は、年2回（上期・下期）、エントリー作品を受け付けて行う。上期・下期で選出された作品を対象に年間の最終選考がおこなわれ、各賞を決定する。

表彰式は、毎年5月下旬～6月初旬に行われる。受賞者には、トロフィーと表彰状が授与される。



◆賞の内容◆

【テレビ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 10、特別賞 1、個人賞 1、フロンティア賞 1

【ラジオ部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 4、個人賞またはDJパーソナリティ賞 1

【CM部門】大賞 1、優秀賞 3、選奨 9

【報道活動部門】大賞 1、優秀賞 2、選奨 3

【その他】志賀信夫賞 1、マイベストTV賞グランプリ 1

<志賀信夫賞>

放送批評懇談会の発展に寄与した放送評論家・志賀信夫の功績をたたえるために、2010年（第47回）創設。広く放送界の発展、放送文化の向上に貢献した人物等を表彰する。放送批評懇談会正会員の推薦を元に選出する。

<マイベストTV賞>

視聴者の参加により選ばれるテレビ番組賞で、2007年（第44回）創設。放送批評懇談会選奨事業委員会が候補番組を選定し、これを毎月、放送批評懇談会正会員と「Gメンバー」（視聴者によって構成される放送批評懇談会のオンライン会員）が投票して選出される。年間で最も得票を得たものが「マイベストTV賞グランプリ」としてギャラクシー賞と共に表彰される。

上記のほか、周年には記念賞を設ける場合がある。

◆沿革◆

1963年度（表彰は1964年）ギャラクシー賞誕生、第1回。

1989年度 第27回、ラジオ部門独立。

1993年度 第31回、ラジオ部門にDJパーソナリティ賞新設。

1995年度 第33回、CM部門設立。

2002年度 第40回、報道活動部門設立。

2006年度 第44回、視聴者が選考に参加する「マイベストTV賞」を新設。

2009年度 第47回、「志賀信夫賞」を新設。

2015年度 第53回、テレビ部門がテレビの新しいチャレンジを応援する「フロンティア賞」を新設。